



保育所だより



平成29年5月号

中部保育所

TEL 63-3221 090-5693-1233

頬をなでる風が気持ちよく感じられるさわやかな季節になりました。所庭のこいのぼりも風を受け、悠々と泳いでいます。

ご入所、ご進級から1か月が経ち、子どもたちは新しい生活に順に慣れてきました。きりん・ぱんだ・うさぎ組は朝から所庭に出て好きな遊びを見つけて思い思いに楽しんでいます。小さいクラスの子どもたちも保育士に親しみをもち、笑顔で過ごせるようになりました。

これからますます外遊びが気持ちよく感じられる季節です。春の自然に触れたり、身体を動かして遊んだりしながら、「保育所ってたのしいな」と感じられるようにしていきたいと思っています。

5月の行事予定

- 1日(月) おあつまり会 安全の日
- 3日(水) 憲法記念日【祝日：休所】
- 4日(木) みどりの日【祝日：休所】
- 5日(金) こどもの日【祝日：休所】
- 8日(月)～12日(金) 身体測定週
- 8日(月)・9日(火) あいさつ運動
- 13日(土) 保護者会総会(全保護者)(8:50～)
親子遠足(りす組以上)
- 17日(水) 誕生会
- 18日(木) 保育所開放日
- 19日(金) わいわいクラブカフェ(17:00～18:00)
- 22日(月) 集金日
- 23日(火) 避難訓練
- 24日(水) わくわくデー
(健康体操教室・ぱんだ組：久多美コミュニティセンター)
- 24日(水)～26日(金) 家庭訪問(ぱんだ・りす・ひよこ組)
- 26日(金) 布団の持ち帰り
- 30日(火) わくわくデー
(折り紙教室・ぱんだ組：久多美コミュニティセンター)



毎朝、元気に体操をしています。



6月の主な予定

- 2日(金) ふれあいデー(節句会)
内科健診①(りす・ことり・ひよこ組※新入児を除く)
 - 6日(火) 内科健診②(きりん・ぱんだ・うさぎ組※新入児を除く)
 - 7日(水)～9日(金) 家庭訪問(きりん・うさぎ・ことり組)
 - 12日(月) 尿検査 歯科健診
 - 24日(土) ◆保護者研修会(プラタナスホール)
 - 27日(火) ◆一日保育士①
- ◆のついている行事につきましては、後日おたよりで詳しくお知らせします。



お知らせとお願い

○保護者会総会・親子遠足について

13日(土)は遠足に出掛ける前に保護者会総会を行います。駐車場が混み合いますので早めにお出かけください。ひよこ組、ことり組の保護者の方もご参加ください。(詳しくはおたよりをご覧ください。)

○わくわくデーについて

地域の方とのふれあいを大切に、いろいろな体験をしていきたいと思っています。浜サロンやしあわせの里を訪問したり、久多美コミュニティセンターの活動に参加したりします。

○ふれあいデーについて

はやさめ会員のおじいさん、おばあさんと一緒に遊んだり、伝統行事を体験したりします。現在、はやさめ会員さんを募集していますので、ぜひご参加ください。

○巡回相談について

今年度も出雲市子ども政策課の岩橋臨床心理士さんに、子どもの心や体の発達について様子を見ていただいたり、保育士の関わり方について相談したりします。お子さんのことやご家庭のこと等相談したい方はお知らせください。

○家庭訪問について

ご家庭に担任が伺い、お子さんの様子を伝え合いたいと思います。お忙しいところ恐れ入りますがよろしくお願いいたします。きょうだいで入所されている方はどちらかのクラスの担任が伺います。

ご寄贈ありがとうございました。
保護者様へたけのこ・カレンダー・めだか
久多美地区交通安全協会様へヤクルト



保育目標～戸外でのびのびと遊ぼう。

季節の良いこの時期に、思いっきり走ったり、散歩に出かけて歩いたりして、存分に体を動かしたいと思います。また、草花にふれたり、空や雲を眺めたり風を感じたり、身近な自然にふれる機会を持ち、興味関心を広げます。

生活目標～元気なあいさつをしよう。

大きいクラスの子どもたちは元気のよい声であいさつや返事をしたり、小さい子も手を振ったり笑顔で応えたりするようになってきています。今後も、子どもたちが自然にあいさつができるよう、まずは保護者の方や職員が親しみをもちあいさつをかわし、子どもたちにあいさつをする気持ちよさを伝えたいですね。



平成29年度保護者会役員さんをご紹介します。

- | | | |
|------|--------|--------|
| きりん組 | ・ 田中 様 | ・ 長廻 様 |
| ぱんだ組 | ・ 原 様 | ・ 佐藤 様 |
| うさぎ組 | ・ 角 様 | ・ 柳 様 |
| りす組 | ・ 長岡 様 | ・ 村松 様 |
| ことり組 | ・ 佐藤 様 | ・ 西尾 様 |

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

★子育てのヒント★

『子どもに寄り添うということは・・・』

児童精神医の佐々木先生(川崎医療福祉大学特任教授)が著者の中で、「子どもに寄り添う」ということを具体的に6つのキーワードにして書かれていますので、ご紹介します。

- ①聞く・・・苦もなく子育てしているように見える人は子どもの話をよく聞いているものです。人は誰でもそうですが、自分の言うことを聞いてくれた人の言うことをよく聞くものだからです。
- ②話す・・・親の思いのようなものを子どもに伝える時には「量」に注意が必要です。正しいことは、多すぎず適量を考えて話すことです。
- ③見る・・・子どもを見るということは、見守るということです。表情とその奥にある心を見るのです。その子にしかない輝きを毎日見ている親がみつかるのです。
- ④笑いかける・・・子どもに笑顔を見せてください。「あなたがこの世に生まれてくれて私は本当に幸せなのだ」と伝えるのは言葉より笑顔です。それが子どもを幸福にするのです。
- ⑤触れ合う・・・抱っこしたり、おんぶしたり、手をつないだり、抱きしめたり。何才になってもやっばいいいんですよ。体だけでなく心でも抱きしめてください。愛していることを伝えるために。
- ⑥待つ・・・待つことは、信じることです。わが子の「いま」にどんな不安があっても必ずいい子に育つと信じて待つのです。待ってもらって育った子は本当の意味で自立できる子に育ちます。

子どもというものは土にまみれた球根のようなものです。どんな花が咲くかはわからない。けれど、きっと美しい花が咲く。それがいつかはわからなくても、信じて、日に当て、水をやり、ときには少し肥料を与える。大輪の花か、小さいけれど強い花か、わからないけれどきっと咲くと信じて辛抱強く見守っていける人こそ、子育ての上手な人です。子どもは待ってもらっている時間の中で「自律心」を育てます。自律心とは、自分のことを自分で決める力です。親にあれこれ口を出されていると、ゆっくり考えることができなくなるのです。十分に熟した野菜が美味しいように、待ってもらうことで自立した大人に育つのです。

(参考文献「花咲く日を楽しみに」著者：佐々木正美)

職員出張のお知らせ

△は午後からの研修

- 16～18日 保育士キャリアアップ研修～多々納
- 17日△出雲市保育協議会総会～山根順子・高橋美恵子
- 23・24日 保育士現任研修～平野
- 24日△特別支援コーディネーター研修会～山根るみ子
- 24日△2017じゃぼキッズ運動会・教育ダンス講習会～浅野
- 30日 キャリアパス導入支援研修～山根るみ子